

工場で生産する製品の微細なキズや汚れ、欠陥などを高速検知

画像センサカメラコントローラ<IV-S402M/IV-S412M>2機種を発売

シャープは、工場で生産する製品の微細なキズや汚れ、欠陥などを高速で検知する画像センサカメラコントローラ<IV-S402M/IV-S412M>2機種を発売します。

画像センサカメラコントローラは、接続したカメラで撮影した画像を処理することにより、不良を検知します。あらかじめ検査基準となるデータ(製品の色の濃度、寸法、面積など)をコントローラに設定し、撮影した画像と比較することで判定を行います。

本機は、業界トップクラス^{※1}の2,500万画素の高精細カメラに対応。基板や半導体など、目視では困難だった精密部品の検査が可能。広範囲で高精細な画像の撮影に加え、高速マルチコアCPUの搭載により、検査精度の向上と高速化を実現します。ラインスキャンカメラ^{※2}にも対応可能なので、帯状の製品や円柱形などの立体的な部品も容易に検査できます。

また、本機はロボットビジョン^{※3}にも対応しています。産業用ロボットと組み合わせて使用することで、ピック&プレイス作業^{※4}を自動化し、工場や物流倉庫における省人化や生産性向上に貢献します。

品名	画像センサカメラコントローラ	
形名	IV-S402M	IV-S412M
希望小売価格	オープン価格	
発売時期	2018年4月	

■ 主な特長

1. 業界トップクラスの2,500万画素の高精細カメラに対応。目視では困難な精密部品の微細なキズや汚れ、欠陥などを高速検知
2. ラインスキャンカメラに対応。帯状の製品や円柱形など立体的な部品も容易に検査が可能
3. ロボットビジョンに対応。ピック&プレイス作業を自動化

※1 2018年4月23日時点。シャープ調べ。

※2 映像素子に1次元CMOSセンサを使用したカメラ。カメラまたは被写体の位置をずらしながら連続撮影し、ライン(線)でとらえたイメージをコントローラ上で2次元イメージに組み立てます。個別対応となりますので、弊社営業窓口にご相談ください。

※3 画像処理により、コントローラが対象物の形状や位置を正確に認識し、動作に必要な座標データを産業用ロボットに送信するシステムです。

※4 箱の中、あるいは生産ラインの前工程から製品をつかみ取り、次の工程へ配置するなどの作業を指します。

本製品に関する情報は、以下のウェブサイトでもご覧いただけます。
http://www.sharp.co.jp/business/products/manufacturing-systems_list.html

【お問い合わせ先】

お客様：ビジネスソリューション事業本部
マニファクチャリングシステム事業部 商品企画部 (072) 991-1645

■ 仕様

形名	IV-S402M	IV-S412M	
外形寸法 (幅 × 奥行 × 高さ)	100 × 220 × 270mm (本体のみ)		
質量	約 2.3kg	約 2.4kg	
接続可能 カメラ	解像度	最大 2,500万画素(エリアカメラ)	
	転送速度	最大 30FPS(2,500万画素カメラ接続時)	
	最大台数	2台 (2,500万画素カメラは1台のみ接続可能)	4台 (2,500万画素カメラは2台まで接続可能)
外部 I / F	シリアル I/F / パラレル I/F / Ethernet		
その他主な機能	アライメント(位置検出)(XYθ、XYY、XYステージ) ロボットビジョン		



シャープ 画像センサカメラコントローラ<IV-S412M>

●カメラはオプションです。